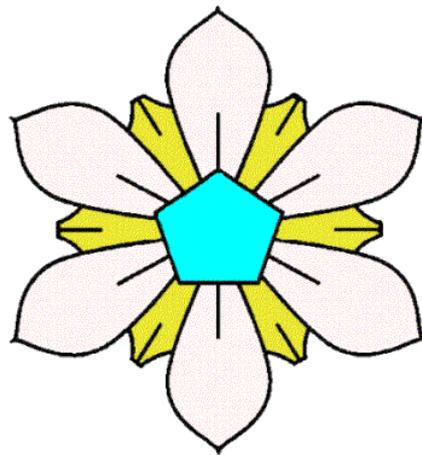


平成31年度

(2019年度)

学習の手引き



東京都立砂川高等学校（通信制課程）

〒190-8583 東京都立川市泉町 935 番 4

TEL. 042-537-4611~3

TEL. 042-537-4982（通信制直通）

<http://www.sunagawa-h.metro.tokyo.jp/site/tei/>

砂川高等学校の教育目標

自立…自己の自律と自立を図り、自己を生かすことのできる人間を育成する。

責任…自己の立場について自覚を深め、自分の役割を全うする実行力のある人間を育成する。

敬愛…自他を愛し、自然や生命を慈しむ心を持ち、公共の福祉に貢献できる人間を育成する。

通信制生徒心得

①本校内では常に生徒証を携帯する。

〔 職員から提示を求められた場合は、
すみやかに提示しなければならない。 〕

②良識ある行動をとり、他人に迷惑をかけない。

③「学習の手引き」（本誌）をよく読む。

目 次

砂川高等学校の教育目標・通信制生徒心得	
年間行事予定表	1 - 2
学習の記録（スクーリング出席・レポート提出の記録用紙）	3 - 6
スクーリング時間割	7 - 10
1 科目登録と学習の流れ	1 1
2 通信制からの連絡方法	1 2
3 学校への連絡とホームルーム	1 3
4 卒業の条件、単位修得と認定	1 4
5 在籍について	1 6
6 平成31年度(2019年度)開講科目一覧	1 7
7 レポートについて	1 9
8 レポートの提出方法	2 1
9 スクーリングについて	2 3
10 学校生活上の注意	2 4
11 試験について	2 4
12 学習について	2 6
13 学習支援	2 7
14 特別活動等について	2 7
15 科目登録について	2 8
16 受講料の納入と在籍について	2 9
17 教科書・学習書等及び補助金について	3 0
18 各種施設利用規定	3 2
19 各種届け出・願、証明書発行	3 4
20 卒業後、進学・就職をするために	3 6
21 転入学生（9月・1月）の学習について	3 7
22 併修生の学習	3 7
23 各教科・科目の学習内容	3 8
24 教室配置図	4 6
25 災害時の対応について	4 7
26 近隣の医療機関	4 8
学則	4 9

この「学習の手引き」は毎年改訂されています。
注意事項や規則などはその年度の「学習の手引き」が適用されます。
在籍2年目以降の人は注意してください。

年間行事予定（左）

別ファイル

「H31_年度行事予定[生徒用・
学習の手引き用]」

どおりに、作成してください。

年間行事予定（右）

別ファイル

「H31_年度行事予定[生徒用・
学習の手引き用]」

どおりに、作成してください。

学習の記録

科目名	試験点数【前期 点／後期 点】											
レポート課題（レポートの回数に合わせて使用）												
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
提出												
返送												
評価												
スクーリング（1時間につき1つの欄を使用）												
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10		
月日												
月日												

科目名	試験点数【前期 点／後期 点】											
レポート課題												
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
提出												
返送												
評価												
スクーリング												
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10		
月日												
月日												

科目名	試験点数【前期 点／後期 点】											
レポート課題												
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
提出												
返送												
評価												
スクーリング												
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10		
月日												
月日												

学習の記録

科目名	試験点数【前期 点／後期 点】											
レポート課題（レポートの回数に合わせて使用）												
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
提出												
返送												
評価												
スクーリング（1時間につき1つの欄を使用）												
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10		
月日												
月日												

科目名	試験点数【前期 点／後期 点】											
レポート課題												
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
提出												
返送												
評価												
スクーリング												
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10		
月日												
月日												

科目名	試験点数【前期 点／後期 点】											
レポート課題												
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
提出												
返送												
評価												
スクーリング												
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10		
月日												
月日												

学習の記録

科目名	試験点数【前期 点／後期 点】											
レポート課題（レポートの回数に合わせて使用）												
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
提出												
返送												
評価												
スクーリング（1時間につき1つの欄を使用）												
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10		
月日												
月日												

科目名	試験点数【前期 点／後期 点】											
レポート課題												
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
提出												
返送												
評価												
スクーリング												
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10		
月日												
月日												

科目名	試験点数【前期 点／後期 点】											
レポート課題												
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
提出												
返送												
評価												
スクーリング												
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10		
月日												
月日												

学習の記録

科目名	試験点数【前期 点／後期 点】											
レポート課題（レポートの回数に合わせて使用）												
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
提出												
返送												
評価												
スクーリング（1時間につき1つの欄を使用）												
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10		
月日												
月日												

科目名	試験点数【前期 点／後期 点】											
レポート課題												
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
提出												
返送												
評価												
スクーリング												
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10		
月日												
月日												

科目名	試験点数【前期 点／後期 点】											
レポート課題												
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
提出												
返送												
評価												
スクーリング												
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10		
月日												
月日												

スクーリング時間割（前期・左）

別ファイル

「H31_スクーリング時間割
[生徒用・学習の手引き用]」
どおりに、作成してください。

スクーリング時間割（前期・右）

別ファイル

「H31_スクーリング時間割
[生徒用・学習の手引き用]」
どおりに、作成してください。

スクーリング時間割（後期・左）

別ファイル

「H31_スクーリング時間割
[生徒用・学習の手引き用]」
どおりに、作成してください。

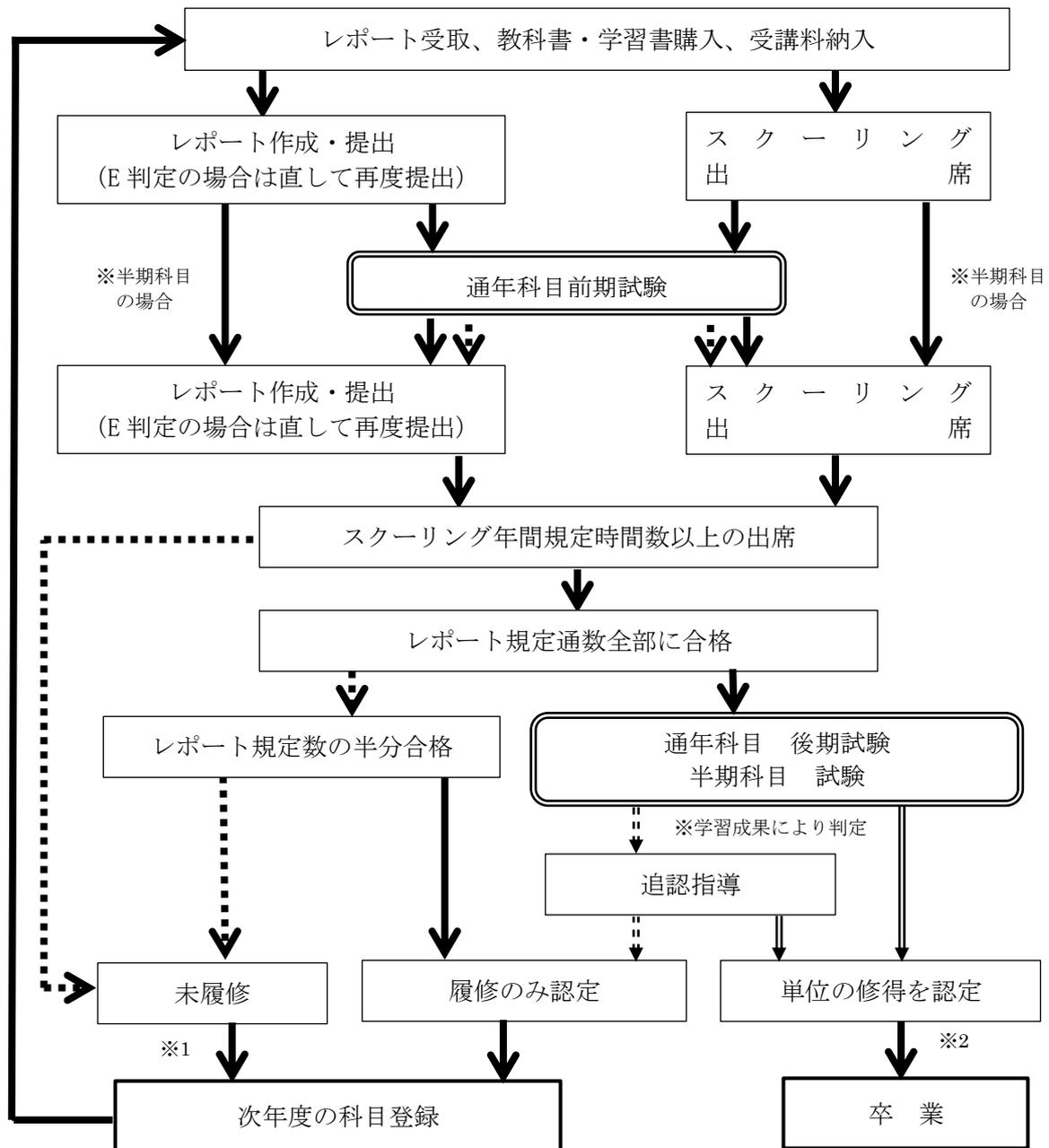
スクーリング時間割（後期・右）

別ファイル

「H31_スクーリング時間割
[生徒用・学習の手引き用]」
どおりに、作成してください。

1 科目登録と学習の流れ

→ YES → NO



※1 学則第 24 条により登録が認められないことがあります。

※2 卒業条件を満たした時。〔学則第 20 条, 14 ページ「(1) 卒業の条件」欄参照〕

「半期認定科目について」

- (1)前期登録科目・・・前期中にレポートとスクーリングの規定数を満たし、試験を受験し、学習成果が十分である場合に、単位の修得が認定されます。
 - (2)後期登録科目・・・後期中にレポートとスクーリングの規定数を満たし、試験を受験し、学習成果が十分である場合に、単位の修得が認定されます。
- ・前期に登録した科目が不合格の場合、後期に再登録することはできません。

2 通信制からの連絡方法

- *学習状況通知
- *特別活動出席状況通知
- *月報『砂川通信』
- *スクーリングニュース
- *個人宛ての郵便
- *電話・メール

【注意】

- ①連絡を読まないために起こる不都合、また住所変更を届けていないために起こる不都合は、本人の責任となります。注意してください。
- ②学校からの郵便物を確実に受け取れるようにしてください。住所変更をしたときには、早急に通信制職員室と経営企画室に届け出をしてください。また、郵便局へ転送届を出してください。
- ③学校から送られた郵便物には必ず目を通す習慣をつけてください。
- ④携帯番号・メールアドレスは担任に届け出てください。より早く連絡が取れます。
- ⑤まずは、この「学習の手引き」をよく読むようにしてください。

(1) 学習状況通知について

レポート提出状況・スクーリング出席状況・定期試験得点、その他注意等が記載してあります。発送予定日（年間行事予定表に「学習」と記載された日）から3日を過ぎても届かないときは連絡してください。

〈確認事項〉

毎回自分の記録したものと合っているかどうか確認し、内容に疑問があればただちに学校に連絡をしてください。

(2) 特別活動出席状況通知について

特別活動出席時間数累計と活動内訳が記載してあります。学習状況通知とともに発送します。

(3) 月報『砂川通信』について

重要な連絡が載っていますので、熟読して保存してください。年間行事予定表に発送予定日が記されています。

(4) スクーリングニュースについて

スクーリング開催日に生徒昇降口に置いてあります。使用教室の変更や、重要事項、お知らせなどが載っています。

(5) 重要な連絡について

学習状況通知と一緒に別紙で送られることがあります。

3 学校への連絡とホームルーム

学校に電話する場合は所属クラス・生徒番号・氏名を伝えてください。

【通信職員室】

時間 火・水・金・土 9:00～16:30
木 13:00～16:30 (午前中は会議のため)
日・月曜、または「行事予定表」で曜日が黒く反転している日は休み

【経営企画室】

受付時間 月曜日～金曜日 9:00～19:00 土曜日 9:00～16:30
閉室日 ①日曜日、年末年始、祝日
②夏季・冬季・春季休業中の土曜日・日曜日・閉庁日

【ホームルーム】

通信制の生徒はいずれかのクラスに所属します。

①原則として、卒業するまで所属するクラスは変更しません。

②スクーリングの日には、12:20～12:25にSHRを各教室で行います。出席してください。出席できない場合は、職員室に担任を尋ねてください。

HR	使用教室	担任 (担当科目[-部略名])	メールアドレス
1組	301	高橋(国語総合, 古典B)	月報にて伝えます。
2組	302	山崎(日史B, 江戸, 歴ベ)	Hisato_Yamazaki@education.metro.tokyo.jp
3組	303	大場(数学I, II, A, 数ベ)	Kazushi_Ooba@education.metro.tokyo.jp
4組	304	鈴木幸(コ英II, 英語会話)	Yukiko_1_Suzuki@education.metro.tokyo.jp
5組	103	高岡(体育C・D, 保健)	Michiyo_Takaoka@education.metro.tokyo.jp
6組	102	池田司(体育A・B, 保健)	Tsukasa_Ikeda@education.metro.tokyo.jp
7組	307	大越(国表, 現文B, 国ベ)	Kimiko_Ookoshi@education.metro.tokyo.jp
8組	308	小森(現代社会, 政経)	Yuuta_Komori@education.metro.tokyo.jp
9組	202	安藤(世史B, 地理, 歴ベ)	Hiroshi_1_Andou@education.metro.tokyo.jp
10組	205	栗飯原(科人, 生基, 生物)	Ryuichi_Aihara@education.metro.tokyo.jp
11組	被服室	増田(家庭総合, 保育)	Sachi_Masuda@education.metro.tokyo.jp
12組	マルチメディア室	池田和(社情, 情科)	Kazuya_Ikeda@education.metro.tokyo.jp
13組	第2多目的室	藤武(コ英I, 英ベ)	Shuuwa_Fuutake@member.metro.tokyo.jp

↑ この表は校正時に差し替えます。

4 卒業の条件、単位修得と認定

(1) 卒業の条件

①～⑤の条件すべてを満たすことが必要です。

ただし、下記①②③⑤の条件については、本校入学時に前在籍校における在籍期間や修得単位が認定されたものについては、本校におけるものと合算して満たせばよい。

- ①3年以上在籍すること。
- ②74単位以上修得すること。
- ③必修科目をすべて履修すること。
- ④本校通信制課程に入学後、本校通信制課程開講科目を6単位以上修得すること。
- ⑤特別活動を30時間以上行うこと。

(2) 卒業の時期

10月または3月

(3) 必修科目

必ず履修しなければならない科目のことです。

詳細については、教育課程によって異なるので、担任に確認してください。

(4) 単位を修得するための条件（各科目ごとに単位認定されます。）

以下すべての条件を満たすことが必要です。

- ①規定のスクーリング出席時間数を満たしていること。
- ②最終締切日までにレポートをすべて提出し、合格していること。
- ③試験のある科目は試験を受験していること。
- ④学習成果が十分であること。

※①の規定時間数および②の規定通数については、17ページの表を参照

(5) 履修の認定

以下二つの条件を満たすことが必要です。

- ①規定のスクーリング出席時間数を満たしていること。
- ②最終締切日までに規定通数の半数以上のレポートを提出し、合格していること。

※①の規定時間数および②の規定通数については、17ページの表を参照

(6) 前在籍校での履修・修得単位

- ・出願時に提出された成績証明書兼単位取得証明書により認定
- ・前在籍校の教育課程表にある科目の履修・修得単位はすべて認定
(平成 25 年度以前の入学生については、「履修」のみは不認定)
- ・留学の単位や学校外の学修も成績証明書兼単位取得証明書に記載のあるものは認定
- ・各教科の必履修科目については本校の設置単位数の 1/2 を超える単位数(例：国語総合 3 単位以上 物理基礎 2 単位以上)を履修・修得していれば本校においても卒業に必要な単位数の履修・修得と認定
- ・本校で設置していない必履修科目の履修・修得も、必履修科目の履修・修得として認定

注 ※前在籍校とは高等学校、中等教育学校の後期課程、高等専門学校、特別支援学校高等部のことです。高等専修学校は含みません。

※成績証明書兼単位取得証明書を認定するのは前在籍校のものだけです。前々在籍校での修得単位や修業年限があった場合は、前在籍校が認定し成績証明書兼単位取得証明書に記載されたものだけを認定します。

(7) 学校外における学修の単位認定

以下に掲げる在籍期間中の学校外における学修について、年度ごとに 1 年間の科目登録単位数の上限である 30 単位を超えて修得単位として認定します。ただし、在籍期間を通じて 6 単位を上限とします。

1 大学等における学修の単位認定

- ①大学、短大、または専門学校等（以下大学等という）における科目等履修、研究生または聴講生としての学修について、単位修得を認定することができます。
- ②適用対象とする大学等における科目・講座の内容、実施期間、受講時間数等については、別途「砂川通信」（月報）で提示します。

2 技能審査の成果の単位認定

- ①技能審査の成果について、16 ページ「表 技能審査の成果の単位認定」の通り対応科目の増加単位として認定します。ただし、対応科目は申請年度以前に単位修得しているかまたは申請年度に単位修得しなければなりません。
- ②同一の技能審査において上位の技能審査に合格した場合であっても、増加単位の認定は各技能審査について行います。
例 実用英語技能検定準 2 級と 2 級を合格した場合、それぞれについて 1 単位、2 単位を認定し合計 3 単位とする。

3 申請の時期と方法

前期末または後期末に修了証、合格証を提出してください。
提出期限については別途月報『砂川通信』で提示します。

技能審査の成果の単位認定

関連教科	技能審査の種類	級・種別	対応科目	単位数	実施団体
国語	日本漢字能力検定	2級以上	国語総合	2	(財) 日本漢字能力検定協会
		準2級		1	
英語	実用英語技能検定	準1級以上	コミュニケーション英語 I (英語 I)	3	(財) 日本英語検定協会
		2級		2	
		準2級		1	
情報	情報処理技術者	ITパスポート	情報の科学 (情報B)	2	独立行政法人 情報処理推進機構

5 在籍について

(1) 入学許可予定者は、受講科目を登録し、指定期日までに入学料や受講料（該当者）を納入していない場合は、入学の取消になります。

(2) 以下の場合、在籍が認められません。

- ① 受講料未納の場合
- ② 科目登録をしない場合
- ③ 在籍可能期間（最長6年間）を超える場合
- ④ 学則第24条の規程に該当する場合

6 平成31年度(2019年度)開講科目一覧

(1)科目一覧表

教科	開講科目	必	単位	レポ	スク	通年科目・半期科目			備考
							前	後	
国語	国語総合	必	4	12	4	通			国語表現、現代文B、古典Bは国語総合を修得していないと登録できません。
	国語表現		2	6	2		前	後	
	現代文B		4	12	4	通			
	古典B		4	12	4	通			
	国語ベーシック		2	6	2		前		国語総合と同時登録のみ
地理歴史	世界史B	必	4	12	4	通			地歴の履修条件は、世界史Bと日本史B、または世界史Bと地理Bと江戸から東京へを履修することです。
	日本史B	必	4	12	4	通			
	地理B	必	4	12	4	通			
	江戸から東京へ	必	2	6	2		前	後	
	歴史ベーシック		2	6	2		前		世界史Bまたは日本史Bと同時登録のみ
公民	現代社会	必	2	6	2		前	後	
	政治・経済		2	6	2		前	後	
数学	数学Ⅰ	必	4	12	4	通			数学Ⅱは数学Ⅰを修得していないと登録できません。
	数学Ⅱ		4	12	4	通			
	数学A		2	6	2		前	後	
	数学ベーシック		2	6	2		前		数学Ⅰと同時登録のみ
理科	科学と人間生活	必	2	6	8	通			理科の履修条件は、科学と人間生活と基礎科目のうち1科目履修すること、または、基礎科目のうち3科目履修することです。 化学は化学基礎、生物は生物基礎をそれぞれ修得していないと登録できません。
	物理基礎	必	2	6	8	通			
	化学基礎	必	2	6	8	通			
	化学		4	12	16	通			
	生物基礎	必	2	6	8	通			
	生物		4	12	16	通			
	地学基礎	必	2	6	8	通			
保健体育	体育A	必	2	2	10	通			年間で登録は2科目4単位まで7～8単位必履修。
	体育B	必	2	2	10	通			
	体育C	必	2	2	10	通			
	体育D	必	2	2	10	通			
	保健	必	2	6	2		前	後	
芸術	音楽Ⅰ	必	2	6	8	通			Ⅱの科目はⅠを修得していないと登録できません。 Ⅰの科目のうちいずれか1科目を必ず履修すること。
	音楽Ⅱ		2	6	8	通			
	美術Ⅰ	必	2	6	8	通			
	美術Ⅱ		2	6	8	通			
	書道Ⅰ	必	2	6	8	通			
	書道Ⅱ		2	6	8	通			
外国語	コミュニケーション英語Ⅰ	必	4	12	16	通			コミュ英Ⅱ-1はコミュ英Ⅰを修得していないと登録できません。コミュ英Ⅱ-2はコミュ英Ⅱ-1を修得していないと登録できません。
	コミュニケーション英語Ⅱ-1		2	6	8	通			
	コミュニケーション英語Ⅱ-2		2	6	8	通			
	英語会話		2	6	8	通			
	英語ベーシック		2	6	8	通			コミュ英Ⅰと同時登録のみ
家庭	家庭総合	必	4	12	8	通			子どもの発達と保育は家庭総合を修得していないと登録できません。
	子どもの発達と保育		2	6	4	通			
情報	社会と情報	必	2	6	4	通			どちらか1科目を必ず履修すること。
	情報の科学	必	2	6	4	通			
商業	ビジネス基礎		2	6	4		前	後	
	マーケティング		2	6	4		前	後	
	経済活動と法		2	6	4		前	後	
総合	総合的な学習の時間	必	4	4	4	通			卒業予定者のみ登録可。 人間と社会1単位を含む。

(2)平成31年度(2019年度)開講科目について

①開講科目一覧表の見方

- 必 : 必履修科目
- 単位 : 単位数
- レポ : レポートの規定通数
- スク : スクーリングの規定出席時間数
- 通 : 通年科目……………1年間の学習で単位を認定
- 前 : 前期科目(半期科目)……………前期の学習で単位を認定
- 後 : 後期科目(半期科目)……………後期の学習で単位を認定

②教育課程について

入学年度及び修得単位によって適用する教育課程が変わり、必履修科目が変わります。詳細については各担任に確認してください。

③前在籍校での単位について

指導要領で定める各教科の必履修科目のうち、本校で開講していない科目でも、前在籍校で履修・修得した科目についてはその単位数とともに必履修の認定も行います。

7 レポートについて

(1) レポート課題について

毎日登校する代わりにレポート課題があります。これは学習の到達度を確認するためのものです。

- ①定められた提出期限にしたがって提出する。
(科目毎に年間の提出通数が定められています。[17 ページ参照])
- ②レポートの提出方法は 21～22 ページを確認する。
- ③再提出になった場合は、再提出期限までに修正して提出し、合格するようにする。
- ④提出・評価については自己管理をする。

(2) レポートの学習の流れ

提出まで

- ①各科目・回数毎に定められた提出期限にしたがって提出 [1～2 ページ下欄参照]
 - ・1通ずつ添削を受けながら回数順に提出していくのが原則です。
 - ・提出方法に不備があると返送されます。
- ②郵送か通信制職員室前にある専用ポストに投函してください。
 - ・記録用紙 (3～6 ページ) に提出日を記入します。



レポートの添削・評価

添削され、評価がついて返送されます。

A B C D…合格

E…再提出または不合格



レポートが返送されてきた時

- ①記録用紙 (3～6 ページ) に返送月日と評価を記入する。
科目毎にファイリングしておいてください。
- ②合格しても添削されたものをよく見て、繰り返し復習してください。



レポートの再提出

- ①期限までに提出する。ピンクの再提出票に再提出期限が書かれています。
指示通りにしっかりやり直しをしてください。
- ②元の提出票を外さずに、一番上にピンクの再提出票を付ける。付け方は同じです。
- ③合格するまで期限を守りながら学習します。

各自の責任において自己管理してください。「学習状況通知」で評価や到着の確認、電話・メールでの問い合わせなどで提出(再提出等を含む)したレポートの状況確認ができます。

(3) レポートの学習の流れ

- ① 「第4種郵便（通信教育）」の扱いを受けるためには、次の a ～ d の条件がそろふ必要があります。所定の用紙以外で郵送するときは注意してください。
 - a 学校宛であること
 - b 内容物が学習報告書（レポート）であること。
 - c 封筒の表面に「東京都教育委員会認可通信教育」と記されていること。
 - d 郵便物が「開封」（1/3程度開いている）であること。

料金は、100g まで 15 円（100g 以上の時は 100g 毎に 10 円ずつ加算）で送ることができます。現在「15 円切手」は販売していないので、10 円と 5 円切手を購入してください。

- ② レポートが学校に届かない、自宅に届かないという郵便事故が起きることがあります。提出から 10 日程度経っても自宅に届かない場合は一度学校に問い合わせ確認してください。また、定期的に「学習状況通知」で確認をしてください。不明な点があれば学校に問い合わせしてください。締切が近い時には、学校への持参が確実です。
- ③ レポート提出最終締切日の 5 日前を過ぎて提出する場合は学校に直接持参してください。どうしても持参できない場合には、郵送することもできます。ただし、その場合は「速達」・「簡易書留」で郵送し、締切日の前日までに電話で到着しているかを確認してください。また、街中の郵便ポストは集荷回数が少ないので、ポストには投函せず、郵便局の窓口から郵送してください。

(4) バーコード

年度当初および学習状況通知送付時に数枚ずつ配布します。切る時には、レポートの提出票の枠内におさまる大きさにしてください。バーコードが貼られていないレポートは、受け付けされずに返送されます。

(5) 作品の提出

美術や家庭科目の作品については、各教科の注意事項を確認してください。作品はレポートと一緒に返却されます。ただし、美術の作品の一部は返却できるようになったらお知らせしますので、職員室に取りに来てください。

8 レポートの提出方法

- (1) レポート冊子より、「色紙の提出票」から「学校の住所が書いてある白い紙」までを取り外します。紙の順序や上下を変えないでください。
- (2) 以下の手順で記入、三つ折りしてください。
 - ① 左上をホチキスで留める。(忘れると郵送中に抜け落ち紛失します。)

東京都教育委員会認可通信教育

レポート提出票

※上のノのころを白紙または茶色紙からホチキスでとじること。※はすべて記入する。

国語総合 第1回	受付月日		※クラス 1 組
	評価	添削者印	※生徒番号 2 0 1 8 4 9 9 9
提出期限 5月14日			※氏名 立川 通

A ← クラス・生徒番号・氏名を記入する

国語総合 第1回	受付月日	添削者印	※クラス 1 組
	返送月日		※生徒番号 2 0 1 8 4 9 9 9
8110010010			※氏名 立川 通

B ← クラス・生徒番号・氏名を記入する

国語総合 第1回	受付月日	評価	氏名番号のバーコードの紙をのり付ける
	返送月日		立川 通 20184999
8110010010			

C ← バーコードをのりで2カ所貼る

国語総合 第1回	受付月日		氏名番号のバーコードの紙をのり付ける
	返送月日		立川 通 20184999
8110010010			

D ← バーコードをのりで2カ所貼る

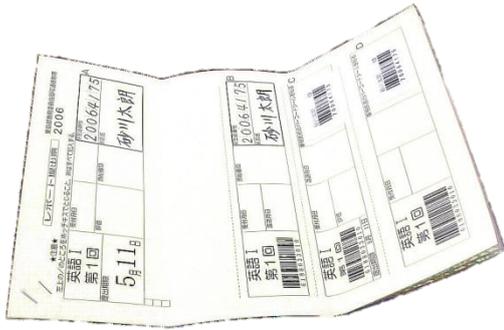
② 茶色い紙に
「郵便番号・氏名・住所」
をボールペンで記入する。
上下の入れ替えをしない。

茶色い紙 →

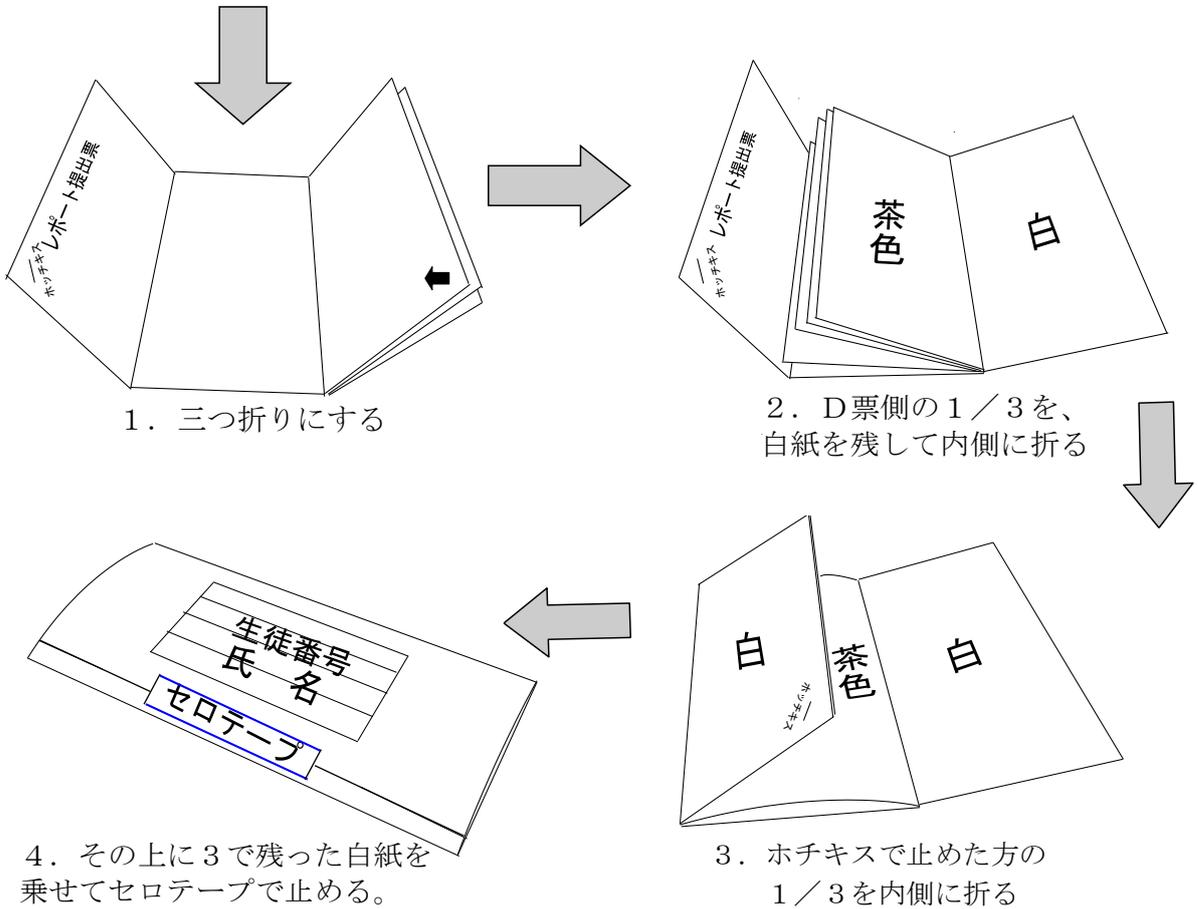
東京都教育委員会認可 通信教育 立川 通
〒192-0039 立川市砂川町9-50-3

③下記のようにする。次の三点を確認してください。

- ・クラス、生徒番号、氏名
- ・バーコードの貼付
- ・茶色い紙に郵便番号、住所、氏名記入



※通信制職員室前のポストに出すときには、三つ折りをする必要はない。学校の住所が書いてある白い紙を外し、ポストに入れる。



注意：セロテープは幅の1/3程度に留める。

9 スクーリングについて

(1) スクーリング

学校で教科担当者から直接指導を受ける学習をいいます。7～10ページの「通信制課程スクーリング時間割」を参照してください。また、前後期の開始前にスクーリングの内容を示した「シラバス」を配布しますので、参考にしてください。

- ①開始のチャイムは鳴りません。開始時刻までに着席してください。
開始時刻を過ぎた場合、出席できません。
- ②教科担当者から出席票を受け取り、終了時に教科担当者に直接渡すことにより出席が認定されます。
- ③2時間続きのスクーリング（3・4、5・6時限）では、1時間分のみの出席認定はしません。必ず連続して出席してください。
- ④公欠・忌引・出席停止等の理由により規定時間の一部を免除することはしません。
- ⑤**担当教員の指示に従わない場合は、退室を命じたり、出席を取り消したりすることがあります。**

(2) スクーリング時間割（7～10 ページ参照）

登録した科目について、年間で規定時間に到達するよう自分で時間割を作ります。単位修得のためには、早い段階で規定時間以上を出席しておくように計画してください。

- ①1、2、7時限が1時間、3・4、5・6時限はそれぞれ2時間続きです。
- ②同一の時間に複数の科目が入っているのは、同時に開講しているためです。
登録した科目が同一時間帯に複数ある場合は、特に注意して計画を立ててください。

(3) 平日スクーリング

通常の土曜日のスクーリングに加えて、一部、平日にもスクーリングを設定します。今年度は火曜日の午前中に実施します。日程は年間行事予定表（1～2 ページ参照）のとおりです。

実施の詳細は、別途4月以降郵送でお知らせします。

10 学校生活上の注意

- ①生徒証、教科書・学習書、その他各教科で指定されたものを必ず持参してください。
- ②生徒昇降口に置かれる『スクーリングニュース』を一部取り、目を通してください。
使用教室の変更等、その日の大事な連絡が載っています。
- ③ホチキス・のり・はさみの貸し出しは行っていますが、職員室前の共有機で使用してください。他への持ち出しは禁止です。また、それらを使用して出たゴミは必ず片付けてください。筆記用具の貸し出しは行っていません。
- ④外出は自由です。また飲食は食堂やオープンスペースを利用してください。
- ⑤所持品は自分で管理してください。
- ⑥教室も含めた施設を利用したい場合は、それぞれの利用規定にしたがってください。
(32～33 ページ参照)
- ⑦自動車・バイクでの通学はできません。自転車で通学する場合には学校に届け出てください。安全を心掛け、自転車保険に加入してください(学校で申込みができます)。
- ⑧地震・火災等非常の場合には指示に従って対処してください(47 ページ)。
- ⑨学校内および通学途中での事故は必ず担任に申し出てください。
- ⑩最終下校時刻は 17:00 です。
- ⑪成人の方でも校内及び校門周辺は喫煙禁止です。
- ⑫校内には本校生徒以外は入れません。(保護者が校内に入る場合は、経営企画室で受付をし、来校者証を身に付けていただきます)
*生徒証は決してなくさないでください。違法な使用につながります。

11 試験について

原則として正規の試験日・時間でしか受験できません。また遅刻は認められません。試験のある科目について未受験の場合は、単位認定されません。

(1) 受験資格

- ① 規定のスクーリング出席時間数を満たしていること。
- ② 最終締切日までにレポートをすべて提出し、合格していること。

※通年科目の前期試験については、資格を問わない。

(2) 時間外受験

① 試験科目が同一時間に重なっている場合

試験時間が重複している科目がある生徒は、事前に学校の方で試験時間を変更します。事前に送付される個人別時間割を確認し、指定された時間に「時間外教室 301」で受験してください。

② 証明書類を提出する場合

次の a ～ d の理由については、証明書類を提出することによって試験時間の変更をすることができます。() 内は提出する書類の例。

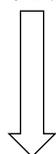
- a 入試・就職試験（受験票等）
- b 三親等までの葬儀（会葬礼状等）※法事は含まない
- c 公共交通機関の遅延（遅延証明書）
- d 学校出席停止の病気（[インフルエンザ] 受診報告書と診療費領収書のコピー）
（[インフルエンザ] 以外）登校禁止期間証明書と診療費領収書のコピー）

※以下は感染症の一例。詳細は問い合わせること。

	感染症名	出席停止期間の基準
第2種	インフルエンザ	発症後 5 日を経過し、かつ解熱後 2 日を経過している
	百日咳	特有の咳が消失するか、5 日間の治療が終了するまで
	麻疹（はしか）	解熱後 3 日を経過するまで
	流行性耳下腺炎	発症後 5 日を経過し、かつ全身状態が良好になるまで
	風疹（3 日はしか）	発疹が消失するまで
	水痘（水ぼうそう）	すべての発疹が痂皮化するまで
	咽頭結膜炎	主要症状消退後 2 日を経過するまで
第3種	結核、髄膜炎菌性髄膜炎	医師が感染のおそれがないと認めるまで
	感染性胃腸炎	医師が感染のおそれがないと認めるまで
	マイコプラズマ肺炎	医師が感染のおそれがないと認めるまで
	溶連菌感染症	医師が感染のおそれがないと認めるまで

<手続きの方法>

「受験願」と「証明書類」を提出する。（変更後の試験日の前日 15 時まで）



※「受験願」は通信制職員室にあります。連絡をいただければ送付します。

※残っている試験日の空いている時間に希望してください。

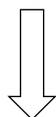
※c の場合のみ、手続き当日の受験を認めます。登校後、速やかに職員室に来てください。

許可された場合は「受験願の控え」を持参し、指定された時間に「時間外教室 301」で受験する。

③ ①②以外の理由（遅刻、体調不良、仕事等）による試験日時の変更
変更は前・後期各 1 回だけ認めます。（登校しなかった場合は 1 日分）

<手続きの方法>

「受験願」のみを提出する。（試験予備日の前日 15 時まで）



※日にちの指定はできません。「試験予備日」に受験します。それ以外の試験日には受験できません。時間は 1～7 時間目で受けられる時間を希望してください。

「受験願」は通信制職員室にあります。郵送も可能です。

「受験願の控え」を持参し、許可された時間に指定された教室（当日掲示）で受験する。

(3) 受験の注意

生徒証は必ず携帯してください。

- * 試験開始 5 分前には着席する。
- * 携帯電話など音の出る機械は、必ず電源を切り、カバン等にしまう。
- * 机上には、筆記用具と生徒証だけを出し、残りはすべてカバン等にしまう。
- * 机の中には何も入れない。
- * 帽子・イヤホン・サングラスなどははずす。(本人確認のため)
- * 荷物は椅子の下に置く。
- * 試験中は私語等の妨害行動を一切禁止。
- * 途中退室はできない。静かに待機する。
- * 試験終了後、監督者の指示があるまでは席を立たない。
- * 上記の注意事項をよく守り、不正行為及び、不正行為とみなされる行動は一切しない。

1 2 学習について

①通信制課程の特色

通信制課程では自宅学習が中心です。少ないスクーリングの時間内でレポート学習および試験に合格するために必要な事柄をすべて教えてもらうことはできません。したがって、レポート学習をするためには、教科書・学習書あるいは参考書等を使用して自学自習してください。

自主的に学習を進め、その成果をスクーリングでの取り組み・レポート・定期試験で表すことによって単位の認定を受けることができます。

②学習時間の確保

30 単位登録の場合、年間のレポート通数は 74～90 通です。平均 2 日で 1 通となります。提出期限日が重なる科目がありますので計画的に学習を進めてください。科目、回数によりますが再提出や復習も含めて 5～10 時間は必要です。試験で合格点を取るためにも、日常の学習時間をしっかり確保してください。

③学習方法

- ・学習のまとめとしてレポートを完成させます。スクーリングでの指導、教科書、学習書、教科担当者からの補助教材等により進めていきます。
- ・自宅で学習して生じた質問や不明な点は、スクーリングの時に教科担当者から指導を受けると有効です。漠然とスクーリングを受けるのではなく、レポート学習を先に進めておくことが大切です。
- ・空き時間や昼休みなどに友人と共に学習するのも有効です。

1 3 学習支援

NHK 高校講座の利用

- ・学習を系統的、継続的に進めるには、NHK 教育テレビやNHK ラジオ第 2 放送で放送されている高校講座を利用するのが効果的です。教科の理解に役立つだけでなく、個人の学習のペースメーカーとして自主学習を助けてくれます。また、NHK 高校講座のサイトではすべての番組が放送終了後に動画配信されていますので、いつでも視聴できます。

NHK 高校講座 <http://www.nhk.or.jp/kokokoza/>

1 4 特別活動等について

(1) 特別活動

教科・科目の学習以外の、①ホームルーム活動(LHR・・・ロングホームルーム)、②生徒会活動、③学校行事を指します。「卒業までに 30 単位時間以上の特別活動を行うこと」が卒業要件の 1 つとなっています。計画的に出席しましょう。

平成 31 年度(2019 年度)特別活動実施予定

月日	曜日	時間帯	活動内容	配当時数	備考
4/20	土	午前	入学式 (教科書販売・レポート受領)	3	対象は新入生のみ
4/20	土	午後	教科オリエンテーション (教科書販売・レポート受領)	1	対象は在校生のみ
4/27	土	3・4 時限	避難訓練・全校集会・ 教科オリエンテーション	2	全員参加
5/11	土	2 時限	LHR	1	全員参加
5/25	土	別途通知	健康診断	2	全員参加
5～6 月頃			前期個人面談	1	平日登校を含め個別に実施
6/8	土	8 時限	就職説明会	1	対象は卒業予定者のみ
6/15	土	8 時限	進学説明会	1	対象は卒業予定者のみ
6/29	土	7 時限	セーフティ教室	1	全員参加
(7/6 土 7 時限スクールنگ終了時にも避難訓練を行いますが、特活にはカウントしません。)					
7/13	土	8 時限	職業レディネスト	1	希望者
7/20	土	8 時限	清掃活動	1	希望者
9/7	土	8 時限	センター試験説明会	1	対象は卒業予定者のみ
10/5	土	5・6 時限	避難訓練・全校集会・ 薬物乱用防止教室	2	全員参加
10/26	土	8 時限	スポーツ大会	1	希望者
10～11 月頃			後期個人面談	1	平日登校を含め個別に実施
11/16	土	8 時限	校外学習事前指導	1	校外学習参加者
11/28	木	終日	校外学習	7	事前申込制
12/14	土	8 時限	清掃活動	1	希望者
1/11	土	7 時限	LHR・避難訓練	1	全員参加
2/26～3/7			科目登録	1	対象は次年度在籍者のみ、 平日登校を含め個別に実施

※年度途中で、追加して実施予定が発表されるものもあります。詳しくは月報『砂川通信』で知らせます。

※「健康診断」は、必ず受診してください。特に卒業予定者は、調査書の記入上必要です。受診していない場合は医療機関等の診断書が必要となります。

※「卒業式」も特別活動に該当しますが、「卒業までに行う 30 単位時間以上の活動」からは除外します。

(2) 部活動

スクーリングのある土曜日の放課後が活動時間です。共通の関心、興味を持つ生徒をもって部を組織し活動します。

〈平成 31 年度(2019 年度)に活動する部活動〉

テニス、バスケットボール、バドミントン、軽音楽

(3) 生徒自主活動

有志により企画・運営する予定です。通信制生徒相互の親睦をはかりながら、自主的活動により各自の向上をめざします。

〈主な活動〉 定時制文化祭への参加、清掃活動(ボランティアの日) 等

1.5 科目登録について

次年度に学習を継続するために「科目登録」を行います。1 月末日までに教科書等購入済の確認がとれていない生徒は、次年度の「科目登録」を行うことはできません。入学選抜と同等の意味があり、指定期間内に「科目登録」を行わない場合、次年度の在籍はできません。

〈日時〉

・ 2 月下旬～3 月初旬 (成績確定後)

・ 詳細については 1 月に書類を郵送しますので、必ず確認してください。

16 受講料の納入と在籍について

受講料を支払わない場合は、東京都立学校の授業料徴収条例施行規則により在籍に関わりますので、気をつけてください。

〈平成 25 年度までの入学生について〉

(1)原則無償です。しかし、在籍年数により有償となる場合があります。

(2)受講料が有償の場合

次の年数を超えて在籍する場合は有償となります。

入学時の認定単位（出願時点で提出された成績証明書によるもの）が

0～13 単位の場合は 4 年間

14～43 単位の場合は 3 年間

44 単位以上の場合は 2 年間

(3)有償の場合の受講料

通信制科目 1 科目につき 870 円（平成 20～25 年度入学者）

※現在の条例では卒業までこの金額は変わりません。

(4)有償となる場合には受講料納入通知書を送付します。納付書に記入された期間内に指定の金融機関で納入してください。

〈平成 26 年度以降の入学生〉

(1)受講料有償

1 単位につき 336 円

(2)就学支援金制度が適用されます

合格発表時に配布したプリントで、その内容を確認してください。

不明な点は、経営企画室に問い合わせてください。

17 教科書・学習書等及び補助金について

(1) 平成31年度(2019年度)使用教科書一覧

	科目名	教科書 会社名	教科書 番号	教科書名	学習書	補助 教材
国語	国語総合	東書	国総 332	新編国語総合	有	
	国語表現	教出	国表 306	国語表現 改訂版	有	
	現代文B	第一	現B 340	高等学校 改訂版 標準現代文B	有	
	古典B	第一	古B 353	高等学校 改訂版 標準古典B	有	
	国語ベーシック	NHK	-	新編国語総合 学習書		
地理 歴史	世界史B	東書	世B 311	新選世界史B	有	
	日本史B	東書	日B 310	新選日本史B	有	
	地理B	帝国	地B 304	新詳地理B	有	
		帝国	地図 309	標準高等地図-地図でよむ現代社会-		
	江戸から東京へ	東京都教育委員会		江戸から東京へ		
歴史ベーシック	NHK	-	新選世界史B、新選日本史B 学習書		有	
公民	現代社会	東書	現社 313	現代社会	有	
	政治・経済	東書	政経 311	政治・経済	有	
数学	数学I	東書	数I 319	改訂 新数学I	有	
	数学II	東書	数II 319	改訂 新数学II	有	
	数学A	東書	数A 319	改訂 新数学A	有	
	数学ベーシック	NHK	-	新数学I 学習書		
理科	科学と人間生活	啓林館	科人 302	科学と人間生活	有	
	物理基礎	東書	物基 312	改訂 新編物理基礎	有	
	化学基礎	東書	化基 314	改訂 新編化学基礎	有	
	化学	東書	化学 309	改訂 新編化学		
	生物基礎	東書	生基 312	改訂 新編生物基礎	有	
	生物	東書	生物 307	スタンダード生物		
	地学基礎	東書	地基 306	改訂 地学基礎	有	
保健 体育	体育A	大修館	保体 304	現代高等保健体育改訂版	有	
	体育B					
	体育C					
	体育D					
	保健					
芸術	音楽I	教出	音I 307	音楽I 改訂版 Tutti	有	
	音楽II	教出	音II 307	音楽II 改訂版 Tutti		
	美術I	日文	美I 302	高等美術1	有	
	美術II	日文	美II 302	高校美術2		
	書道I	東書	書I 305	書道I	有	
	書道II	東書	書II 305	書道II		
外国 語	コミュニケーション英語I	東書	コI 328	All Aboard! English Communication I	有	有
	コミュニケーション英語II-1	東書	コII 326	All Aboard! English Communication II	有	
	コミュニケーション英語II-2	東書				
	英語会話	東書	英会 301	Hello there! English Conversation		
	英語ベーシック	NHK	-	All Aboard! English Communication I 学習書		有
家庭	家庭総合	東書	家総 307	家庭総合 自立・共生・創造	有	
	子どもの発達と保育	実教	家庭 311	子どもの発達と保育 新訂版		
情報	社会と情報	東書	社情 310	社会と情報		有
	情報の科学	東書	情科 306	情報の科学		
商業	ビジネス基礎	実教	商業 334	ビジネス基礎 新訂版	有	
	マーケティング	実教	商業 336	マーケティング 新訂版		
	経済活動と法	実教	商業 327	経済活動と法		
総合	総合的な学習の時間	東京都教育委員会		人間と社会(準教科書)		

(2)教科書・学習書の補助金

詳細は月報『砂川通信』で連絡します。

*教科書・学習書の補助金を受けられる人

- ①定職（正規雇用・自営業）に就いている人
- ②パート、アルバイトで当該年度内に90日以上働いた実績のある人
- ③その他の対象者
（詳細については経営企画室に問い合わせてください）

*教科書、学習書代補助金申請期間

申請期間は当該年度内に4回（6月、9月、11月、2月）を予定。
4回のうち、いずれかの期間に申請すればよい。
→審査を経て、補助金の交付対象となった人は、
指定した口座に教科書、学習書代が後日振り込まれます。

*申請のための書類および提出先

- ①補助金申請書
- ②補助金証明書
- ③支払金口座振替依頼書
- ④教科用図書申請内訳表（書店の領収印のあるもの）
- ⑤その他の対象者については別途必要な書類
→提出先は経営企画室窓口

(3)教科書・学習書取扱店

「オリオン書房」

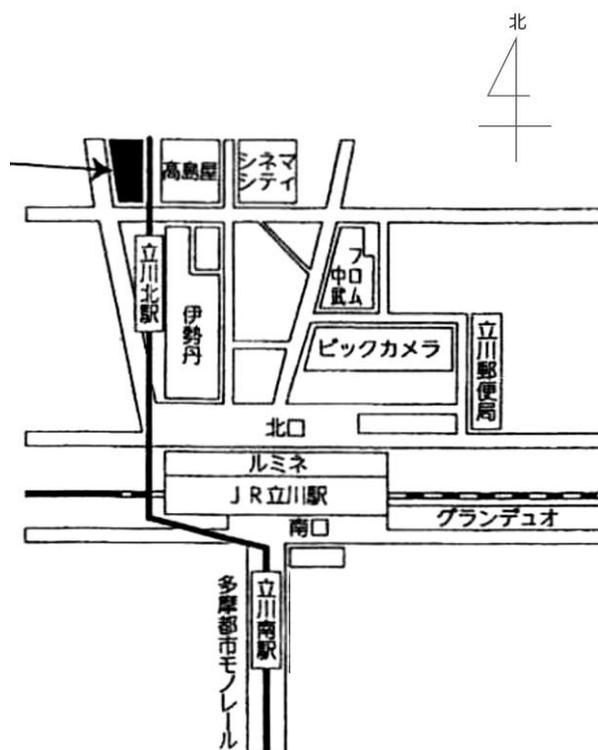
※サービスカウンターで注文

〒190-0012

東京都立川市曙町 2-42-1
(パークアベニュー 3階)

☎042-529-2311

教科書・学習書を新たに購入する場合は、
事前にオリオン書房外商部オフィスに
電話連絡してください。



18 各種施設利用規定

(1) 保健室

- ①スクーリング・試験のある日には、資格を有する担当者がいます。その指示に従って利用してください。
- ②不在の場合は通信制の職員室へ連絡してください。

(2) 食堂

- ①スクーリング日・試験日には食堂のテーブルが利用できます。
- ②販売はありません。
- ③教室での飲食はしないでください。飲食できるのは、食堂及び指定された場所のみです。
- ④利用時間は9:00～17:00です。

(3) 図書室（管理棟2階）

- ①図書室入口および33ページの「図書室の利用方法」に従ってください。

(4) 自習室（201教室奥） 施錠されています

- ①利用時間 土曜日 9:00～16:30（スクーリング、試験のある日）
- ②利用のしかた 職員室で使用したい旨、申し出てください。

(5) キャリアガイダンス室（校舎棟2階 東端）

担当者がいる時に利用できます。

(6) 進路相談室《表示は「生徒相談室」》（管理棟2階）

担当者がいる時に利用できます。
詳細は月報、掲示板、スクーリングニュース等で連絡します。

(7) 教育相談室（校舎棟1階 101講義室）

カウンセラーが定期的に来校しています。悩み事や誰かに話したい、その他何でも気軽に話せる場です。事前に予約することもできます。
カウンセラー来校日時等は月報、掲示板、スクーリングニュース等で連絡します。

(8) 体育施設等

- ①スクーリング・部活動等以外で使用することはできません。
- ②使用方法は担当者の指示に従ってください。また、部活動の時間は顧問の指示に従ってください。

(9) 購買コーナー

自動販売機が利用できます。

(10) 託児室

生徒が学習活動におこなう間、託児室にてお子さんを預かる施設です。

以下の要項にあてはまり、託児を希望する生徒は生活指導部まで申し出ること。

- ・開設日 スクーリング日、試験日および試験予備日
- ・開設時間 8:30～16:30
- ・託児対象年齢 満1歳～未就学児
- ・費用等 保険代金（昨年度は800円＋ α ） その他、準備する物あり

《図書室の利用方法》

- 1 スクーリング日・試験日・長期休業期間（ただし土曜日と蔵書点検中は除く）は、図書室の図書・雑誌・資料を閲覧することができます。
〈利用時間〉 [通常] 9:00～16:30
[長期休業期間] 9:00～17:00
- 2 図書室入室時に受付カウンターにある入室者名簿に生徒番号と氏名を記入してください。
- 3 図書室以外の場所での図書・雑誌・資料の閲覧はできません。
- 4 図書室の貸出規定は以下の通り。
[通常]
①期間 スクーリング日に貸出、次のスクーリング日に返却
②貸出可能冊数 1冊
[長期休業期間]
①期間 スクーリング最終日から前期テスト初日
②貸出可能冊数 3冊
- 5 返却が遅れた生徒には、図書等の貸し出しをしない場合があります。
返却をしていない場合は、貸し出しはしません。
- 6 閲覧した、または借りた図書等を破ったり汚したりした場合は、弁償となります。

19 各種届け出・願、証明書発行

(1) 届け出・願

以下に示すものは、申請先より所定の用紙を受け取り、すみやかに届け出をしてください。

種 類	申 請 先	備 考
変 更 届	経営企画室	氏名、住所、保護者、通学経路等に変更が生じた場合には、届け出が必要です。 *住所変更をした場合は、学校からの郵送物が送付できなくなるないように、担任に連絡の上、すみやかに変更してください。
生徒証交付申請書		生徒証を紛失した場合。
学生割引証発行申請書（回数券用）		通学経路届を提出した生徒 年8回まで発行できます。
学生割引証発行申請書（旅行用）		JRの区間で、片道100kmを超える区間を旅行する場合に申請が可能。
バーコード用紙再発行願	通信制職員室	バーコードを紛失した場合。 （レポートの提出に必要）
レポート再発行願		レポートを紛失した場合。
退 学 願	担 任	未成年者は保護者の同意が必要。 担任に相談してください。
転 学 願		早めに担任へ相談してください。
日本スポーツ振興センター給付請求	担任まで連絡すること	加入手続きをしていること。 校内または登下校中での負傷であること。 その事実が起きた時点で学校への連絡が必要。

(2) 各種証明書

経営企画室に申し出て申請書類を受け取ってください。申請から発行までに1週間以上かかります。時間に余裕をもって申請してください。また、担任にも申請する旨を伝えてください。

在校生は無料です。卒業生・退学者は、1通につき400円かかります。

証明書の受け取りには、生徒証が必要です。

種 類	発 行 条 件
在 学 証 明 書	科目登録をし、かつ受講料(該当者のみ)が納付されていること。
卒 業 証 明 書	卒業していること。
調 査 書	下記(3)の発行基準を満たしていること。
卒 業 見 込 証 明 書	調査書の発行条件と同じです。
成 績 証 明 書	
単 位 修 得 証 明 書	
推 薦 書	校内審査をするため、発行希望の3週間前までに申し出ること。

(3) 調査書の発行条件 [後期] (①～⑥のすべてを満たすこと)

①高等学校等に3年以上の在籍 (当該卒業予定年度終了時。以下⑤まで同じ)

②74単位以上の修得

③必履修科目をすべて履修

④本校通信制課程で6単位以上修得

⑤特別活動を30時間以上行う

⑥現在 (当該卒業予定年度) 履修中の卒業に必要な通年科目・後期科目については、以下の要件をすべて満たすこと

ア レポートについては、調査書発行申請時点において、提出期限を経過しているすべてのレポートを提出していること (通年科目においては、前期分すべてのレポートに合格していること)

イ スクーリングについては、調査書発行申請時点において、年間のその時までの期間の割合分のスクーリング規定回数を概ね満たしていること

ウ 通年科目の場合、定期考査については、前期考査を受験し一定の点数に達していること

* 以上の条件について、担任の先生とよく相談しておいてください。

20 卒業後、進学・就職をするために

- (1) 卒業後、進学・就職を希望している人は、特に次の点に留意して学習を進めましょう。
- ① 卒業予定年度の前までになるべく多くの単位を修得し、卒業年度の履修科目が少なくなるように学習を進める。
 - ② 卒業年度のスクーリングは、できる限り早い時期に規定回数をクリアするように予定を立てる。
 - ③ 学習状況通知・月報「砂川通信」・「進路だより」などの進路に関する情報に注意する。
 - ④ 進路に関する説明会（6月の就職説明会・進学説明会など）には必ず出席する。
（卒業予定年度でなくとも出席してかまいません）
 - ⑤ 大学合格、就職内定であっても、本校を卒業できなければ進路先決定は取消しとなる。
- ※入学手続き終了後に単位不認定で卒業が認められず、入学金等が無駄になってしまいうことがないように十分に注意する。

(2) 調査書について

進学・就職などに出願する場合は、調査書・卒業見込証明書等が必要となります。調査書・卒業見込証明書は、前記の調査書発行条件を満たしていなければ発行されません。そのため、一度発行されても学習の状況により発行されない場合もあります。発行時期は8月以降になります。ただし、不必要に早い時期には発行しません。

発行申請する前に必ず担任の先生に相談してください。

なお、大学入試センター 試験出願（志願票提出）は、学校単位で行います。

2.1 転入学生（9月・1月）の学習について

〈9月転入学生〉

以下に掲げる事項以外、原則4月入学生と同様です。この「学習の手引き」をよく見て活動してください。

- ① 本校転入学時に年度途中における引き継ぎが認められた科目については、スクーリングの規定時間数およびレポートの規定通数については、17ページの表に示す数の1/2とします。
- ② 特別活動は、本校転入学時に前在籍校における活動時間数として認められた分と合わせて、卒業までに30時間以上行うこと。

〈1月転入学生〉

以下に掲げる事項以外、原則4月入学生と同様です。この「学習の手引き」をよく見て活動してください。

- ① 本校転入学時に年度途中における引き継ぎが認められた科目については、スクーリングの規定時間数およびレポートの規定通数については、別途通知します。
- ② 特別活動は、本校転入学時に前在籍校における活動時間数として認められた分と合わせて、卒業までに30時間以上行うこと。

2.2 併修生の学習

(1) 各種変更・届け出

- ① 住所の変更
通信制職員室に必ず届け出てください。
- ② 各種再発行
通信制職員室に来てください。

(2) 学習を進めていくにあたって

本冊子を熟読の上学習を進めてください。不明点は通信制職員室併修担当に問い合わせてください。

履修科目の進捗状況を学習状況通知で定期的に通知します。学習状況は在籍校にも通知します。

なお、本校通信制からの連絡方法は月報『砂川通信』及び学習状況通知の郵送によります。必要に応じて電話連絡をします。

23 各教科・科目の学習内容

- ①シラバス（スクーリングで行う内容の予定表）を前期・後期の始めに配布します。
スクーリングの内容を見て、登録時点で立てた出席予定表を必要に応じて変更してください。
また、予定表の中に各教科で指示が入っている場合があります。注意して見てください。
- ②教科書・学習書、その他各教科で指定されたものを必ず持参してください。
また、スクーリングの前には、その単元のレポート部分を学習してから臨みましょう。

国 語

- *国語総合(通年)・・・(4単位 スク4時間 レポ12通)
現代文(明治以降の文章)の分野、古典(古文、漢文)の分野、表現に関する分野の基礎・基本を学びます。レポート作成には教科書と学習書が必要ですが、「国語便覧」「文法書」「句法書」があると学習が深まります。
- *国語表現(前期/後期)・・・(2単位 スク2時間 レポ6通)
さまざまな場面で、自分の思いや考えをより効果的に表現することの基礎・基本を学びます。小論文の書き方も学習します。
- *現代文B(通年)・・・(4単位 スク4時間 レポ12通)
現代文は、国語総合を修得した人を対象にした選択科目です。小説、随筆、評論、詩、短歌、俳句の学習をします。それぞれの作品を読解し、作品が生み出された背景も、考察していきます。レポート作成も「読んで考えて書く」ことが中心となりますので、レポート作成には時間がかかります。
- *古典B(通年)・・・(4単位 スク4時間 レポ12通)
古典Bは、国語総合を修得した人を対象にした選択科目です。国語総合で学んだ知識をもとに古典の学習をより深く学習していきますので、国語総合の教科書は処分せず、手元に置いてレポート作成をしてください。その他、「文法書」「句法書」「国語便覧」があるとさらに学習が深まります。
- *国語ベーシック(前期のみ)・・・(2単位 スク2時間 レポ6通)
必修科目である国語総合の学習を進めるための基礎知識を学ぶ科目です。主に、現代文や古典の内容を読解するために必要な知識を学習します。レポート作成には教科書と学習書が必要です。

地 歴

- *世界史B(通年)・・・(4単位 スク4時間 レポ12通)
レポートは世界通史で構成されています。前期は古代から中世、後期は近世から現代までです。スクーリングとレポートを通じて、教科書や学習書に記された基本的な歴史的な出来事や人物について学習します。スクーリングでは、配布したプリントを完成させ、提出することを出席認定の条件とします。また、レポートは提出期限を厳守することを心掛けて下さい。尚、レポート評価や評定基準の詳細等についてはスクーリング時にお知らせします。

- *日本史B(通年)・・・・・・・・(4単位 スク4時間 レポ12通)
学習指導要領に基づき、原始・古代から現代までの我が国の歴史を総合的に学ぶ科目です。レポートは、教科書の基本的な歴史事象を幅広く網羅的に学ぶよう作成されています。教科書の本文だけでなく、資料や脚注が解答の手がかりになることもありますので、教科書を丹念に読むよう心がけてください。レポート評価や評定基準の詳細等については別途お知らせします。
- *地理B(通年)・・・・・・・・(4単位 スク4時間 レポ12通)
世界地図を広げながら、人口・環境・民族問題や国境を越えたヒト・モノ・情報の移動がもたらす影響について考えたり、世界の各地の多様な風土のなかで育まれた人々の暮らしや文化を訪ねたりします。レポートでは、教科書や学習書に記された内容の着実な理解、それを踏まえて統計資料・資料の読み取り、読み込みを行うことが大切です。スクーリングでは、配布したプリントを完成させ、提出することを出席認定の条件とします。また、レポートは提出期限を厳守することを心掛けて下さい。尚、レポート評価や評定基準の詳細等についてはスクーリング時にお知らせします。
- *江戸から東京へ(前期/後期)・・・・・・・・(2単位 スク2時間 レポ6通)
江戸時代から現代までの日本の歴史について、東京に残る史跡や文化財等を教材として活用しながら学びます。レポートは資料を考察して解答する論述問題が多く、教科書だけでなく、インターネットや図書館等を活用しての調べ学習が必要になります。さらに、家の近くの歴史資料館・博物館を各自が訪れて作成する課題もあります。そのため、原則的には日本史Bを修得した上で、発展的な内容の学習を求める意欲的な生徒の受講を期待します。レポート評価や評定基準の詳細等については別途お知らせします。
- *歴史ベーシック(前期のみ)・・・・・・・・(2単位 スク2時間 レポ6通)
世界史Bまたは日本史Bの学習の前提となる歴史の基礎知識の定着を目指す科目です。中学校の教材も活用しながら、歴史の時代区分や世界の国名の漢字表記等、世界史B・日本史Bの前期分レポートを学習するための基礎的な知識等を身につけ、歴史学習のレディネスを整えることを目的とします。レポート評価や評定基準の詳細等については別途お知らせします。

公 民

- *現代社会(前期/後期)・・・・・・・・(2単位 スク2時間 レポ6通)
現代社会における経済や政治の基本的な構造や、国際社会が抱えている諸問題、青年期の特徴、人間の生き方などについて学びます。スクーリングはほぼレポートの順に行います。半年間の学習を通して、社会について、人間について、自分について、様々な観点から考えられるような力を身につけましょう。
- *政治・経済(前期/後期)・・・・・・・・(2単位 スク2時間 レポ6通)
政治や経済の基本的な概念や理論を具体的な事例を通して、学習します。現実の政治や経済の動きにも注意し、テレビやインターネット、新聞、雑誌などのメディアが伝える情報を吟味しながら健全な批判力を持ちつつ、読み解く力を養ってください。

数 学

[レポートについて]

- レポートは、ほぼ教科書に沿った内容になっています。レポートを作成するときは教科書・学習書でしっかり学習してから取り組んでください。また、NHKの高校講座を積極的に活用してください。
- 原則として全問正解しないとレポートは合格になりません。また空欄（未解答）がある場合や説明が不十分・不合理な場合は不合格になりますので、提出前に必ず確認して下さい。
- レポートはまとめてやることは大変ですので、提出期限にあわせて1通ずつ提出してください。

[スクーリングについて]

- スクーリングは、レポートに沿った内容を行います。予定表（シラバス）を見て、計画的に出席してください。
- スクーリングに出席の際は、必ず教科書・レポートを持参してください。また、学習支援の先生にも積極的に質問してください。

[各科目の内容について]

- * 数学Ⅰ(通年)・・・(4単位 スク4時間 レポ12通)
数と式、2次関数、三角比、集合と論証、データの分析
- * 数学Ⅱ(通年)・・・(4単位 スク4時間 レポ12通)
方程式、図形と方程式、三角関数、指数関数と対数関数、微分と積分
- * 数学A(前期/後期)・・・(2単位 スク2時間 レポ6通)
場合の数と確率、図形の性質、整数の性質
- * 数学ベーシック(前期のみ)・・・(2単位 スク2時間 レポ6通)
数の計算、式の計算、方程式、関数(1次関数・2次関数のグラフ)

理 科

【レポート】

原則、満点解答のレポートが合格となります。空欄や誤答(誤字・脱字によるものも含む)が1つでもあると不合格となり、再提出となります。十分に確認の上、提出して下さい。

【スクーリング】

レポートの内容に沿ったスクーリングを行っています。レポートに早めに取りかかり、興味をもった内容や苦手とする内容(教科書を調べても作成が進まない回の内容など)に関するスクーリングに、積極的に出席するようにして下さい。各科目とも実験を極力取り入れます。興味をもって学習して下さい。

【各科目の学習内容】

- * 科学と人間生活(通年)・・・(2単位 スク8時間 レポ6通)
科学技術の発展は私たちの生活を豊かで便利なものにしてきました。生物と光、微生物とその利用、食品と衣料、材料とその再利用、光の性質とその利用、熱の性質とその利用、身近な天体と太陽系における地球、自然景観と自然災害について学びます。
- * 物理基礎(通年)・・・(2単位 スク8時間 レポ6通)
物体の運動と様々なエネルギーについて学びます。
(1)物体の運動とエネルギー (2)様々な物理現象とエネルギーの利用

- *化学基礎(通年)・・・(2単位 スク 8時間 レポ 6通)
物質とその変化について学びます。
(1)物質の成り立ち (2)物質の変化
- *生物基礎(通年)・・・(2単位 スク 8時間 レポ 6通)
生物や生命現象について学びます。
(1)遺伝子とのはたらき (2)生物の体内環境の維持 (3)生物の多様性と生態系
- *地学基礎(通年)・・・(2単位 スク 8時間 レポ 6通)
地球や地球を取り巻く環境について学びます。
(1)宇宙における地球 (2)変動する地球
- *化学(通年)・・・(4単位 スク 16時間 レポ 12通)
化学基礎で学んだことをもとに、様々な化学反応の観察とその原理の簡単な検証を行います。「化学基礎」修得者が登録できます。
(1)物質の状態と変化 (2)溶液の性質 (3)結晶構造
(4)化学反応と熱 (5)電池と電気分解 (6)反応速度・化学平衡
(7)無機化学-典型元素-典型金属元素 (8)無機化学-典型元素-典型金属元素
(9)無機化学-遷移元素 (10)有機化学の基礎
(11)有機化学-酸素をもつ脂肪族化合物 (12)有機化合物と人間生活
- *生物(通年)・・・(4単位 スク 16時間 レポ 12通)
地球に生命が誕生してから40億年といわれていますが、私たち人間が明らかにできた生命現象はそのほんの一部にしかすぎません。生物や生命現象の基礎について学習し、環境との関わりについても考えていきます。「生物基礎」修得者が登録できます。
(1)生命現象と物質 (2)遺伝子のはたらき (3)生殖と発生
(4)生物の環境応答 (5)生態と環境 (6)生物の進化と系統

保健体育

- *体育A・体育B・体育C・体育D(通年)・・・(各2単位 スク 10時間 レポ 2通)
 - ①2科目まで受講可能です。(例：体育Aと体育B)
卒業年度に達するまでに、3科目つまり体育A・B・Cまでは履修しておく方がよいでしょう。
 - ②選択制実技です。
2科目(4単位)を登録した場合は、同じ種目を規定数受講したら、それ以降は違う種目を選択してください。
 - ③選択種目によって活動場所が異なりますので、体育館履きと運動靴(革靴不可)の両方を必ず持参すること。[天候等により活動場所が変更になることがあるため]
 - ・バドミントン[体育館] ・ターゲットバードゴルフ[グラウンド等]
 - ・バスケットボール[体育館] ・ソフトボール[グラウンド等]
 - ・バレーボール[体育館] ・フットサル[体育館]
 - ・体づくり[グラウンド等] ・ニュースポーツ[体育館等]
 - ・硬式テニス[テニスコート等] ・卓球[剣道場]
 - ④必ず体育館履き(学校指定)を購入してください。
 - ⑤前期1回目のスクーリングはオリエンテーションです。必ず出席してください。その際、服装の確認をするので、体操着、体育館履き、運動靴を必ず持ってきてください。

⑥スクーリングには体操着で参加してください。体育館履き(学校指定)、運動靴、タオルなど必要なものを持参してください。

※体操着はジャージ、Tシャツ、ウインドブレイカーのみ

スウェット、スパッツ、ホットパンツ、セーター、ワイシャツ、マフラー等は認めません。

※更衣室で着替え、貴重品等荷物をすべて持参し、体育館に集合してください。

⑦見学・早退は原則認めていません。体調を整え、運動できる日を選んで出席して下さい。

*保健(前期/後期)・・・・・・・・(2単位 スク2時間 レポ6通)

①現代社会と健康、②生涯に通じる健康、③社会生活と健康を半年間で学習します。

芸 術

①レポートについて

いずれの科目も提出票に「作品」と表示されているレポートは、作品が無いと受付されません。

作品には必ず生徒番号・氏名を明記してレポートと一緒に郵送するか、提出期限前のスクーリングまでに、直接持参してください。その場合は通信の職員室までレポートと作品と一緒に持ってきてください。スクーリング時に、教科担当者に直接提出することは出来ません。

②スクーリングについて

いずれの科目も、レポート、教科書、学習書や必要な道具(書道の道具など)を毎回持参してください。

*音楽Ⅰ(通年)・・・・・・・・(2単位 スク8時間 レポ6通)

スクーリングでは、レポートの内容に則した楽典、音楽の歴史、鑑賞を学習します。加えて、歌唱、アンサンブル(電子ピアノ、ギター、ハンド・ベル)等、実技演奏をする場合もあります。

*音楽Ⅱ(通年)・・・・・・・・(2単位 スク8時間 レポ6通)

スクーリングでは、レポートの内容に則した楽典、鑑賞の他に、編曲・創作等を学習します。加えて、歌唱、アンサンブル(音楽Ⅰに同じ)等、実技演奏をする場合もあります。

*書道Ⅰ(通年)・・・・・・・・(2単位 スク8時間 レポ6通)

ただ単に文字を整えて上手に書くということだけを第一の目的とするのではなく、書の歴史や、様々な文字の種類、書き方を学んでいきます。スクーリングでは実技の時間を多くとりますので、筆(大・小)・墨汁・半紙(20枚位)・硯・文鎮を必ず用意してきて下さい。これらの用意が無い場合は出席とみなすことができません。

*書道Ⅱ(通年)・・・・・・・・(2単位 スク8時間 レポ6通)

Ⅰの内容に加えてさらに“芸術としての書”を理解し、より広い表現方法を学んでいきます。用具については書道Ⅰと同様です。

*美術Ⅰ(通年)・・・・・・・・(2単位 スク8時間 レポ6通)

美術の表現方法の基礎を学び、鉛筆や色紙、切り絵などを使って、楽しい作品を仕上げていきます。絵を描きたい、または描くことが苦手な方でも、自分らしい作品が仕上がります。

*美術Ⅱ(通年)・・・・・・・・(2単位 スク8時間 レポ6通)

時代の異なる美術の作品を鑑賞しながら、自己の表現方法を学んでいきます。鉛筆やアクリル絵の具など、画材の使用方法を学び、楽しい実技を行います。

英 語

英語のレポート作成には、次のものを用意して取り組みましょう。

①教科書 ②学習書 ③音声CD ④英和辞典（電子辞書）

⑤英文法参考書（「総合英語」という名称が多い）

①～③については本校で購入できますが、④・⑤は個人で書店に行き、自分が使いやすいそうなものを選ぶとよいでしょう。

英語学習は積み重ねです。こつこつと辞書を引く手間を惜しまずに、学習書や参考書をよく読んで理解し覚えながら、レポートを完成させましょう。

*コミュニケーション英語Ⅰ(通年)・・・(4単位 スク16時間 レポ12通)

高等学校で学ぶ主要な文法事項・構文・語彙の基礎・基本を中心に学習します。この科目の単位を修得すると、希望者は次年度以降にコミュニケーション英語Ⅱに進むことができ、継続してさらに高度な内容の学習を行うことができます。常に予習・復習する習慣をつけ、自分の学習スタイルを確立することが大切です。レポートの提出時期が期限より大幅に遅れると、「特別課題」への取り組みが必要となり、合格するための基準が高くなります。年間を通じてバランスよく学習し、レポートは必ず期限を守って提出してください。学習成果は、試験の得点・スクーリング(プリント等)・レポート評価・火曜スクーリング演習結果(加点)・夏期講習演習結果(加点)等を総合して評価し、評価材料の8割前後を試験の得点によるものとします。

中学校の学習内容を復習したい生徒は「英語ベーシック」を同時登録してください。

*コミュニケーション英語Ⅱ-1(通年)・・・(2単位 スク8時間 レポ6通)

英文、文法も難しく高度なものがたくさん出てきます。レポートには、自分で何かを英語で表現するものや、文法書や辞書を使って取り組まなければならないものも含まれています。そこで、学習する意欲が求められます。

*コミュニケーション英語Ⅱ-2(通年)・・・(2単位 スク8時間 レポ6通)

基本的にはコミュニケーション英語Ⅱ-1と同じですが、より高度になりますので、意欲的に学習する意志と努力が必要です。

*英語会話(通年)・・・・・・(2単位 スク8時間 レポ6通)

英語で身近な話題について積極的に会話する能力を養います。そこで、スクーリングは、アクティビティーや発表など、積極的に発言することが求められます。レポートは教科書の対話文を書き写すことと、初めて目にする会話文を理解することですが、文字をきれいに正確に書くことが求められます。定期試験はありませんが、スクーリングで毎回リスニングテストを行います。さらに、ALT(外国人英語等教育指導員)との契約が成立した場合には、スクーリング時に会話テストを前・後期1回ずつ行います。

*英語ベーシック(通年)・・・・・・(2単位 スク8時間 レポ6通)

今年度、同時に登録する「コミュニケーション英語Ⅰ」4単位を学習するにあたっての基礎固めとして、中学校までの学習内容の復習もしながら、補完することが目的です。be動詞・一般動詞を用いた現在形の肯定文・疑問文・否定文を作ることができない人は、必ずこの科目を同時登録し、地道に学び直す機会として下さい。

家 庭

いずれの科目も提出票に「作品」と表示されているレポートは、作品がないと受付されません。作品を含むレポートの提出方法は、レポートの最初のページに掲載されています。よく読んで提出すること。

- *家庭総合(通年)・・・・・・・・(4単位 スク8時間 レポ12通)
人生・家族・保育・高齢期・福祉・消費経済・衣食住など多岐にわたる分野を学習します。年間を通じて実技が含まれており、道具の準備等も必要です。スクーリングにおいても実技は実施しますので、積極的に参加して下さい。
スクーリングではビデオ視聴・体験学習なども行います。
- *子どもの発達と保育(通年)・・・・・・・・(2単位 スク4時間 レポ6通)
乳幼児の子どもを中心に、発達と保育の知識と技術を学びます。レポートには基礎的基本的な知識だけでなく作品制作やインタビューなどが含まれ、スクーリングは実技が中心となり積極的な参加が求められます。

情 報

- *社会と情報(通年)・・・・・・・・(2単位 スク4時間 レポ6通)
インターネットを代表とする情報通信ネットワークや情報機器(パソコンや携帯電話)の発展が著しい現代社会において、適切に情報を扱うことができる能力を身につけることが目標です。
レポートは教科書を中心としますが、学習用プリントを参照する回もあります。必要になる前の回のレポートに同封します。大切に保管してください。
後期のレポートはコンピュータを使った実習課題を紙面にて提出する回があります。パソコンとプリンタが無い生徒は、対応したスクーリングに出席して作成してください。レポート評価や評定基準の詳細についてはスクーリング等でお知らせします。
- *情報の科学(通年)・・・・・・・・(2単位 スク4時間 レポ6通)
コンピュータやインターネットなど、高度情報化社会を支えている技術やしくみを科学的に理解し、現代社会における問題解決能力や情報社会の発展に貢献するための技術や心構え等を身につけることを目的としています。
レポートにはコンピュータを使った実習課題を紙面にて提出する回があります。パソコンとプリンタが無い生徒は、対応したスクーリングに出席して作成してください。レポート評価や評定基準の詳細についてはスクーリング等でお知らせします。

商 業

- *ビジネス基礎(前期/後期)・・・・・・・・(2単位 スク4時間 レポ6通)
ビジネスに関する基礎的な「知識」と「技術」を学び、経済社会で生きていく上での望ましい心構えを身につけ、ビジネスの諸活動に適切に対応する「ビジネスパーソン」としての「資質」と「能力」と「態度」を養うために学習する科目である。ビジネスの世界の一般常識について広く浅く学習していくので、将来就職する上で必要とされる「ビジネスに就くに当たっての心構え」や「役に立つ知識」の基本を身につけることができる。
- *マーケティング(前期/後期)・・・・・・・・(2単位 スク4時間 レポ6通)
顧客満足の実現を目指して行われているマーケティングの諸活動について学んでいく。企業が、市場調査・消費者の購買行動分析・商品計画・販売価格の決定・販売経路の決定・販売促進などの活動を計画的に行っていることを知ることで、消費者としてどのように判断し行動すべきかを考える材料を身につけてもらいたい。かなり専門的な分野まで扱うが、将来、販売の仕事に就きたいと考えている人はぜひ選択して欲しい科目である。

*経済活動と法(前期/後期)・・・・・・・・(2単位 スク4時間 レポ6通)

売買取引を中心に、経済の諸活動に必要な法規について基礎的な知識を学ぶ科目です。具体的には、民法を軸に権利・義務・財産権・契約などを学び、商法・会社法を軸に企業活動・株式会社などについて学習していく。

法律によって世の中の経済活動の仕組みを捉え、私たちが法律によって守られていることを知ることは、とても重要である。法律的なものの方や考え方、判断力を身につけることは、労働者・消費者・生活者として現代の経済社会をよりよく生きていく上で必要な知識である。

※評価の仕方(3科目共通)

< レポートの評価について >

●レポート1通を100点満点で計算。

0~20点ならびに「未記入箇所のある未完成レポート」は「E」、21~40点を「D」、41~60点を「C」、61~80点を「B」、81点~100点に「A」をつける。

「E」は再提出(不合格)である。一度再提出になったレポートは、次回合格基準に達したとしても、「D」評価になる(「A」、「B」、「C」評価は付かない。)

●提出期日締め切り後のレポートの取り扱い

商業科目の場合、提出期日を重視している為(提出期限を厳守することはビジネスの世界ではとても重要)、期日遅れのレポートは、「1段階以上」下げて評価する。

< 最終的な成績(評定)について >

●満点 130点

●内訳 (a)試験100点(b)平常点30点

(b)平常点30点の内訳は、

レポートA各5点、B各4点、C各3点、D各2点

スクーリング受講態度等、不良の場合レポート点より減点することがある。

●評定段階 5・・・・・・・・100~130点

4・・・・・・・・80~99点

3・・・・・・・・60~79点

2・・・・・・・・40~59点

1・・・・・・・・0~39点

総 合

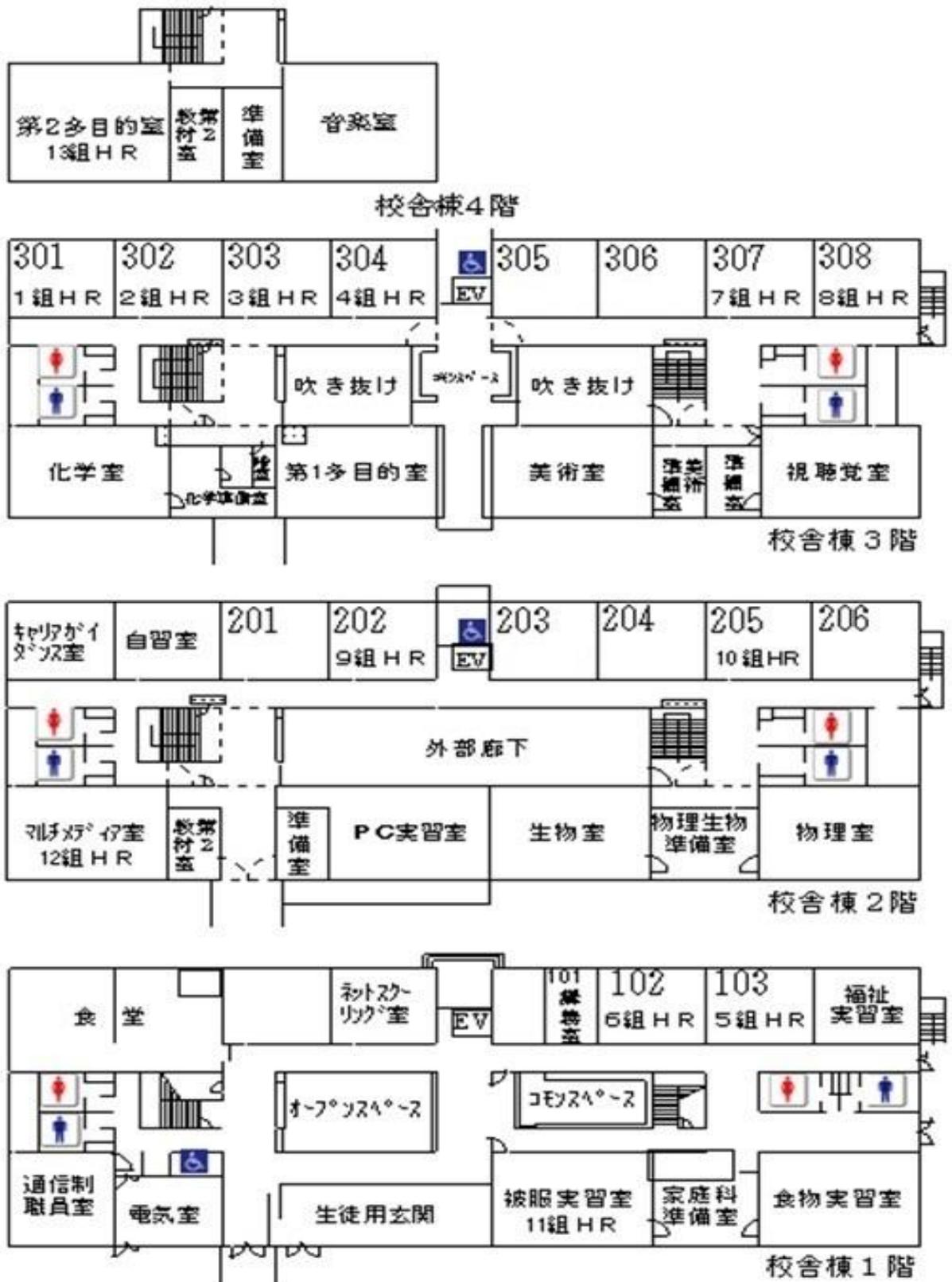
*総合的な学習の時間(通年)・・・・・・・・(4単位 スク4時間 レポ4通)

(「人間と社会」を含む)

「総合的な学習の時間」には、教科「人間と社会」を含みます。卒業対象者のみが取れる科目です。1回ずつ、テーマに沿って調べ学習をします。

開講回数が少ないので、登録者は「総合的な学習の時間」への出席を最優先して出席計画を立ててください。

24 教室配置図



25 災害時の対応について

大きな災害に遭った場合・・・

まずは自分の身の安全を確保して下さい。

そして家族の安否確認や避難場所の確保等ができれば、学校に連絡を下さい。

生徒から学校へ安否連絡する手段

- ・学校に電話する（042-537-4982：通信制職員室直通）
- ・教員宛にメールする

学校から生徒への情報発信手段

スクーリング時に大きな災害が起きた場合もこの方法で情報を発信します。

災害時の指定避難場所は立川第六中学校です。（地図は次ページ参照）

- ・学校HP
- ・災害時伝言ダイヤル（171）※（年に2回、使用体験を予定しています）

※災害用伝言ダイヤルの基本的操作方法

1. 「171」をダイヤルする
〈ガイダンス〉こちらは災害用伝言ダイヤルセンターです。録音される方は「1」、再生される方は「2」。暗証番号を利用する録音は「3」、暗証番号を利用する再生は「4」をダイヤルして下さい。
2. 再生「2」をダイヤルする
〈ガイダンス〉被災地の方はご自宅の電話番号、または、連絡を取りたい被災地の方の電話番号を市外局番からダイヤルして下さい。被災地域以外の方は、連絡を取りたい被災地の方の電話番号を市外局番からダイヤルして下さい。
3. 通信制職員室の電話番号を、市外局番からダイヤルする
4. （プッシュ式電話の場合）「1」「#」を押す
（ダイヤル式電話の場合）そのまま待つ
〈プッシュ式電話の場合のガイダンス〉新しい伝言からお伝えします。伝言を繰り返す時は、数字の「8」の後、「#」（シャープ）を、次の伝言に移る時は、数字の「9」の後「#」を押して下さい。
〈ダイヤル式電話の場合のガイダンス〉新しい伝言からお伝えします。
5. 伝言が再生される
〈プッシュ式電話の場合のガイダンス〉お伝えする伝言は以上です。伝言を追加して録音される時は、数字の「3」の後、「#」を押して下さい。（録音操作はしないで下さい）
〈ダイヤル式電話の場合のガイダンス〉お伝えする伝言は以上です。
6. 終了（電話を切る）

災害はいつ起こるかわかりません。

家族の人達とも、災害時に連絡を取れる方法をしっかりと確認しておきましょう。

近隣地図



26 近隣の医療機関

医療機関	所在地・電話番号	診療時間（休診日）
菅家医院（内科）	立川市柏町 4-2-15 042-536-4602	9:00～12:30、15:00～18:00 （木・第3金PM・土PM・日・祝）
かとり耳鼻咽喉科 （定時制学校医）	立川市柴崎町 2-1-6-6F 042-526-3387	9:00～12:00、15:00～18:00 （火・土PM・日・祝）
スガモト眼科 （定時制学校医）	立川市柏町 2-16-4 042-535-3338	9:00～12:00、14:30～17:30 （土PM・日・祝）
立川相互病院	立川市緑町 4 番 1 042-525-2585	8:30～11:00、12:30～15:30 ※緊急時は 24 時間受付 （土PM・日・祝）
国立病院機構 災害医療センター	立川市緑町 3256 042-526-5511	予約 8:30～11:00 （土・日・祝）

※本校には管理棟入口にAED（自動体外式除細動器）が設置してあります。

学則

第1章 総則

- 第1条[目的] 本校は、学校教育法の定めるところにより、単位制の高等学校普通教育を施すことを目的とする。
- 第2条[課程] 本校は定時制の課程及び通信制の課程を置く。
- 第3条[学科] (省略)
- ②通信制課程に普通科を置く。
- 第4条[修業年限] 本校の修業年限は、定時制課程・通信制課程とも、本校入学以前に在籍した高等学校の修業年限とあわせて3年以上とする。
- ②本校の在籍年数の上限は、休学、留学の期間を含めて6年とする。

第2章 年度・学期及び休業日

- 第5条[無学年制] 本校は、単位制・無学年制とする。
- 第6条[年度] 年度は4月1日に始まり翌年3月31日に終わる。
- 第7条[学期] 学期は、次のように定める。
- ① 前期 4月1日から9月30日まで
- ② 後期 10月1日から3月31日まで
- 第8条[休業日] 休業日は、次のとおりとする。
- (通信制の休業日は、別に定める。)

第3章 教育課程及び授業日時数

- 第9条[教育課程] 教育課程は、別に定める。
- 第10条[授業日時数] 授業日数は、別に定める。

第4章 単位の履修・修得の認定

- 第11条[履修] 教科・科目の履修の認定は、計画的・継続的にその授業を受け、出席次数が別に定める基準を下らないものとする。
- 第12条[修得] 履修した教科・科目について、その成果が目標から見て満足できるものと認められるとき、校長はその教科・科目の所定の単位を修得したことを認定する。

第5章 生徒定員及び教員組織

- 第13条[生徒定員] 本校の定員は次のとおりとする。
- 定時制課程 600名
- 通信制課程 720名
- 第14条[教員組織] 本校に校長・副校長・経営企画室長のほか、主幹教諭・主任教諭・主任養護教諭・養護教諭・実習助手・経営企画室員・司書教諭・司書、その他必要な職員を置く。

第6章 入学・留学・転学・退学・休学及び卒業

- 第15条[入学] 入学の時期は学期初めとする。
②入学を許可される者は、学校教育法第57条及び学校教育法施行規則第95条の各号の一に該当する者とする。
③入学選抜の方法は、別に定める。
- 第16条[転・編入] 各課程に欠員が生じたときは、転入学・編入学を許可することができる。
- 第17条[留学] 校長は、生徒が外国の高等学校に留学することを許可することができる。
②留学の単位認定等については、別に定める。
- 第18条[転退学] 転学または退学しようとするときは、その理由を明記し、保護者または保証人から校長に申請し、その許可を受けなければならない。
②転学または退学しようとする者が成人の場合は、本人またはその配偶者が転退学を申請することができる。
- 第19条[休学] 校長は、病気その他特別の事情で3ヶ月以上出席困難と認められる者には、その年度内につき休学を許可することができる。
- 第20条[卒業] 本校で一定年限以上修業し、別に定める規定により74単位以上修得した場合は卒業を認定する。
①前項の単位数には、次に掲げる単位数を累積加算することができる。
他の高等学校で修得した教科・科目の単位で、本校で認定したもの。
②本校所定の課程を修了し、卒業を認定された者には、卒業証書を授与する。
③卒業の時期は、原則として年度末とする。

第7章 授業料、その他

- 第21条[授業料等] 本校生徒の授業料及び納入方法等は、東京都立学校の授業料等徴収条例の定めるところによる。

第8章 賞罰

- 第22条[褒賞] 校長は必要と認めたとき、生徒に賞状もしくは商品を与えてこれを褒賞する。
- 第23条[懲戒] 校長は、必要と認めたとき、生徒に次の懲戒を行う。
退学
停学
訓告
- 第24条[退学] 校長は、次のいずれかに該当する者に対して、退学を命ずることができる。
① 品行不良で改善の見込みがないと認めた者
② 学力不足で成業の見込みがないと認めた者
③ 正当な理由がなくて出席が常でない者

- ④ 学校の秩序を乱し、その他、生徒としての本分に反する行為のあった者
- ⑤ 所定の期日までに履修登録を行わないなど修業の意思がないと認められた者
- ⑥ 別に定める在籍年数を超えた者

付則

- 1. 本学則は、平成17年4月1日から施行する。
- 2. 本学則は、平成18年4月1日から施行する。
- 3. 本学則は、平成19年4月1日から施行する。
- 4. 本学則は、平成20年4月1日から施行する。
- 5. 本学則は、平成21年4月1日から施行する。
- 6. 本学則は、平成22年4月1日から施行する。
- 7. 本学則は、平成23年4月1日から施行する。
- 8. 本学則の細則は、別に定める。

スクーリング時程

1 時限	教 科	8 : 40 ~ 9 : 30	50分
休憩／移動		9 : 30 ~ 9 : 40	10分
2 時限	教 科	9 : 40 ~ 10 : 30	50分
休憩／移動		10 : 30 ~ 10 : 40	10分
3・4 時限	教 科	10 : 40 ~ 12 : 20	100分
	SHR	12 : 20 ~ 12 : 25	5分
休 憩		12 : 25 ~ 1 : 10	45分
5・6 時限	教 科	1 : 10 ~ 2 : 50	100分
休憩／移動		2 : 50 ~ 3 : 00	10分
7 時限	教 科	3 : 00 ~ 3 : 50	50分

試験時程

1 時限	8 : 40 ~ 9 : 20
2 時限	9 : 40 ~ 10 : 20
3 時限	10 : 40 ~ 11 : 20
4 時限	11 : 40 ~ 12 : 20
昼 食	12 : 25 ~ 1 : 10
5 時限	1 : 10 ~ 1 : 50
6 時限	2 : 10 ~ 2 : 50
7 時限	3 : 10 ~ 3 : 50

組 生徒番号

氏名

砂川高等学校の教育目標

自立…自己の自律と自立を図り、自己を生かすことのできる人間を育成する。

責任…自己の立場について自覚を深め、自分の役割を全うする実行力のある人間を育成する。

敬愛…自他を愛し、自然や生命を慈しむ心を持ち、公共の福祉に貢献できる人間を育成する。

通信制生徒心得

①本校内では常に生徒証を携帯する。

〔 職員から提示を求められた場合は、
すみやかに提示しなければならない。 〕

②良識ある行動をとり、他人に迷惑をかけない。

③「学習の手引き」（本誌）をよく読む。